

歯科材料 2 歯冠材料
管理医療機器 歯冠用硬質レジン (70811020)、歯科金属用接着材料 (70921000)

SR ネクスコ

【禁忌・禁止】

メタクリル酸に対して過敏症状を有する患者には、使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

[種類(シェード)]

- (1) オペーカー (Opaker)
BL3,BL4,A1,A2,A3,A3.5,A4,B1,B2,B3,B4,C1,C2,C3,C4,D2,D3,D4
- (2) ライナー (Liner) : 1, 2, 3, 4, 5, クリア, インサイザル,BL
- (3) Paste ポンティック フィル (Paste Pontic Fill)
- (4) リテンションフロー (Retention Flow)
- (5) Paste マージン (Paste Margin): 1, 2, 3, 4, 5
- (6) Paste インサイザル (Paste Incisal): 1, 2, 3, 4, 5,BL
- (7) Paste デンチン (Paste Dentin)
BL3,BL4,A1,A2,A3,A3.5,A4,B1,B2,B3,B4,C1,C2,C3,C4,D2,D3,D4
- (8) Paste エフェクト オクルーザルデンチン
(Paste Effect Occlusal Dentin): オレンジ, ブラウン
- (9) Paste エフェクト マメロン (Paste Effect Mamelon)
ライト, イエロー/オレンジ
- (10) Paste エフェクト トランスペアレント (Paste Effect Transparent)
ブルー, ブラウン/グレー, オレンジ/グレー, クリア
- (11) Paste エフェクト オパール (Paste Effect Opal):
E1, E2, E3, E4
- (12) ステイン (Stain)
クリア, ホワイト, ブルー, オレンジ, マホガニー, マロン, レッド, チリ
- (13) ジンジバ オペーカー (Gingiva Opaker)
- (14) Paste ジンジバ (Paste Gingiva): 1, 2, 3, 4, 5
- (15) Paste インテンシブ ジンジバ (Paste Intensive Gingiva)
1, 2, 3, 4, 5
- (16) Paste ベーシック ジンジバ (Paste Basic Gingiva): BG34
A-D表記はビタシェードに対応している。その他のシェードの対応表は取扱説明書を参照すること。

[付属品]

- (17) SR モデリングリキッド (SR Modeling Liquid)
- (18) SR リンク (SR Link) [一般的名称: 歯科金属用接着材料 管理医療機器]
- (19) SR モデルセパレーター (SR Model Separator)
- (20) SR ゲル (SR Gel)
- (21) SR リテンションアドヒーズ (SR Retention Adhesive)
- (22) ユニバーサル ポリッシングペースト (Universal Polishing Paste)
- (23) SR ミキシング パッド (SR Mixing Pad small)
- (24) SR モデリング インストルメント (SR Modelling Instrument)
: A(イエロー)、B(レッド)、C(ブルー)
- (25) SR ミキシング プレート (SR Mixing plate small)
- (26) ディスポーザブル ブラシ (Single use brush)
- (27) ディスポーザブル スポンジ (Single use sponge)
- (28) カニユーレ φ 1.5mm (Cannulas)
- (29) カニユーレ φ 0.4mm (Cannulas Luerlock)
- (30) カニユーレ キャップ (Cannula Caps)
- (31) ユニバーサル ホルダー ホワイト(Universal Holder White)

[成分]

ウレタンジメタクリレート、二酸化ケイ素、その他

[原理]

歯科用金属フレームまたは石膏模型上に本品を築盛し、歯科用修復物の形態・色調の形態修復を行う。インサイザルは咬合面に使用できるが、他の構成品は咬合面に使用できない。

【使用目的又は効果】

前装冠、ジャケット冠及びブリッジによる歯冠修復又は暫間被覆冠等の製作若しくは口腔内外での人工歯冠の補修に用いる。
 金属歯冠補修のために必要な接着材を利便性のため組み合わせる。

【使用方法等】

メタルフレームを使用した修復物を製作する場合

1. 通法に従い、採得した印象で模型を製作し、表面硬化材およびスパーサーを塗布する。
2. 模型上でワックスアップし、シリコンキーを製作する。ワックスパターンをカットバックした後、スプルーを立て、SR リテンションアドヒーズを塗布、20秒以上乾燥させる。その後、リテンションビーズを付与する。
3. フレームを鋳造後、掘り出し、ブラスティングや清掃を行う。模型に装着し、カーバイドバー等で仕上げる。80~100 μmのアルミナ2~3気圧でブラスティングし、その後すぐにSR リンクを塗布し、3分間反応させる。
4. リテンションフローを使用する場合は、リテンションビーズの隙間を埋めるようにリテンションフローを塗布し20秒間重合する。重合後一層目のオペーカーを塗布する。カニユーレ φ 1.5mmを装着したオペーカーをSR ミキシングパッドまたはSR ミキシングプレートに出し、ユニバーサルホルダー ホワイトに装着したディスポーザブル ブラシで薄く塗布し20秒間予備重合する。リテンションフローを使わない場合は、粗面が滑らかになるようにリテンションビーズの隙間をオペーカーで埋め、20秒間予備重合する。
5. 第二層目のオペーカーを塗布し、各部を20秒ずつ予備重合後、光重合器で本重合する。
6. ディスポーザブルスポンジで余分な未重合層を完全に除去し、表面をつや消し状態に仕上げる。
7. カニユーレ φ 0.4mmを装着したステインでオペーカー表面にキャラクタライゼーションを行い、20秒間予備重合する。
8. SR モデルセパレーターを塗布、乾燥させた模型にフレームを試適し、SR モデリングリキッドで湿らせたSR モデリングインストルメントを使用してデンチンの第一層を圧接し、20秒間予備重合する。
9. ブリッジのポンティック部には、Paste ポンティック フィルの築盛をし、40秒間予備重合後、本重合を行い、未重合層を除去する。
10. 歯頸部には、マージンを築盛し、その後デンチン層を順に築盛する。各部を20秒間ずつ予備重合する。マメロン部をPaste エフェクト マメロンかステインで付与する。インサイザルを築盛し、20秒間予備重合する。
11. 舌側は、Paste エフェクト オクルーザル デンチンでオペーカーをマスキングし、デンチン等で辺縁隆線を作る。Paste エフェクト トランスペアレントのブラウン/グレーまたはオレンジ/グレーで辺縁隆線と結節を築盛し、その後Paste エフェクト オパールE3およびE4を薄く築盛する。歯肉部を表現するには、ジンジバ オペーカー塗布後、Paste ベーシック ジンジバをベース材として歯冠乳頭部から模型まで全体に築盛し、Paste ジンジバまたはPaste インテンシブ ジンジバを使用する。
12. 築盛後、予備重合を確実にするため、再度各部位を20秒ずつ光重合する。レジン表面にSR ゲルを塗布し、光重合器で3~14分光照射し最終重合する。
13. 重合・硬化後、スチーマーでSR ゲルを修復物から除去し、カーバイドバーやディスク等で修復物表面の未重合層を除去し、調整および外形の形態修正をする。
- *14. ラバーポリッシャーやシリコンホイールで修復物表面を滑らかにし、ユニバーサル ポリッシングペーストで光沢を出す。

酸化ジルコニウムフレームを使用した修復物を製作する場合

1. CAD/CAMシステムで推奨される方法に従い、模型製作およびミリングをする。
2. フレームに80~100 μmのアルミナ1気圧でブラスティングし、その後すぐに酸化ジルコニウム用接着材を塗布し、使用方法に従い反応させる。
3. ライナーを支台歯の表面に少なくとも150 μmの厚みで塗布し、20秒間予備重合する。ディスポーザブルスポンジで余分な未重合層を完全に除去する。
4. 第一層目を圧をかけながら、築盛する。ペーストは、築盛図に従い築盛すること。各部は、20秒ずつ予備重合する。

5. 築盛後、予備重合を確実にするため、再度各部を20秒ずつ予備重合する。レジン表面にSR ゲルを塗布し、光重合器で3～14分光照射し最終重合する。
6. 重合・硬化後、スチーマーでSR ゲルを修復物から除去する。
7. カーバイドバーやファインのダイヤモンドで修復物表面の未重合層を除去する。修復物を模型に試適し、隣接面および咬合面の調整および外形の形態修正をする。
8. ラバーポリッシャーおよびシリコンホイールで修復物表面を滑らかにし、ユニバーサル ポリッシングペーストで光沢を出す。

メタルフリー修復物を製作する場合

1. 通法に従い、採得した印象で模型を製作する。アンダーカットのブロックアウトおよび表面硬化材の塗布をする。
2. SR モデルセパレーターを、支台歯、隣接部模型および対合歯に薄く二層塗布する。
3. ライナーを支台歯の表面に少なくとも150 μ mの厚みで塗布し、20秒間予備重合する。ディスポーザブルスポンジで余分な未重合層を除去する。
4. 第一層目を圧をかけながら築盛する。Paste デンチンで唇側面を仕上げる。歯冠部や舌側部の色調は、Paste エフェクト オクルーザル デンチン オレンジ、ステインで整える。Paste エフェクト トランスパアレントのブルーまたはクリアでデンチン層を仕上げ、Paste エフェクト オパール E1、E2でインサイザル部分を築盛する。マメロン部をPaste エフェクト マメロンで再現し、Paste インサイザルで歯牙の形態に仕上げる。インサイザルやPaste デンチンで舌側部を築盛し、咬頭や三角隆線はPaste エフェクト オパール E3、E4で薄く塗布して補う。SR モデリングインスツルメント、SR モデリングリキッド、ディスポーザブルブラシを使って築盛層を移行的に仕上げ、各層を20秒ずつ予備重合する。
5. 築盛後、予備重合を確実にするため、再度各部位を20秒ずつ400～500nmの波長域を含む光重合器で光重合する。レジン表面にSR ゲルを塗布し、光重合器で3～14分光照射し最終重合する。
6. 重合・硬化後、スチーマーでSR ゲルを修復物から除去し、温かいうちに修復物を支台歯から取り外す。
7. カーバイドバーやファインのダイヤモンドバーで修復物表面の未重合層を除去し、調整および外形の形態修正をする。
8. ラバーポリッシャーやシリコンホイールで修復物表面を滑らかにし、ユニバーサル ポリッシングペーストで光沢を出す。

修理する場合

1. レジン表面を80～100 μ m粒子のダイヤモンドバーで調整後、水洗し、エアーで乾燥させる。
2. レジン表面にアドヒーズを塗布し、乾燥、重合後、充填用コンボジットレジンで築盛し重合する。
3. 硬化後形態修正を行い、ラバーポリッシャーやシリコンホイールで研磨する。

脱離した場合

メタルフリー修復物の場合は、80～100 μ mのアルミナを最大1気圧でブラスティングし、オイルフリーのエアーで除去した後、プライマー処理し、接着性レジンセメントで接着する。
メタルフレームを使用した修復物の場合は、歯科用金属のメーカー指示にしたがってアルミナでブラスティングし、水洗、乾燥後、プライマー処理し、接着性レジンセメントで接着、または従来型セメントで合着する。

[使用方法に関連する使用上の注意]

- ・重合前の本品が肌、粘膜、目などに触れないよう注意すること。市販の手袋はモノマーが短時間で浸透するので、本品が付着した場合は、直ちに手袋を捨て流水で洗浄すること。
- ・重合には400～500nmの波長域をもつ650mW/cm²の光量の光重合器を使用し、メーカーの使用説明書によりに光照射を行うこと。

【使用上の注意】

[重要な基本的注意]

- ・本品の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には、使用を中止し医師の診察を受けさせること。
- ・未重合の本品が皮膚、口蓋等に触れた場合、大量の水で洗い流し、刺激等の違和感がある場合は、医師の診察を受けること。
- ・重合後の本品を研磨する場合、切削くず等を吸い込まないように注意し、換気装置を備えた場所で行うこと。

- ・重合および硬化が不完全になることがあるので、本品に他の類似品を混合して用いないこと。
- ・使い終わったオペカーはカニューレにカニューレキャップを付けて保存すること。
- ・オペカーは完全に重合しない場合があるので、厚く塗り過ぎないように注意すること。
- ・界面活性剤はアドヒーズを溶かす恐れがあるので、SR リテンションアドヒーズを使用した後、埋没材で埋没する前のフレームに界面活性剤を使用しないこと。
- ・SR リンクを使用する際、揮発性及び可燃性があるので、ブラスティング後のフレームをスチームやエアガンで清掃しないこと。
- ・50%以上の銀と銅またはどちらか一方を含有した合金や90%以上の金、パラジウム、プラチナを含有した合金と共にSR リンクを使用しないこと。
- ・空気が混入するのを防ぐため、築盛前のペーストを折り畳むように混ぜないこと。また、低粘度と高粘度の材料を混ぜ合わせないこと。
- ・築盛を行う時は、推奨されている各材料の重合深度と層の厚さの最大値を守る。厚さが最大値を超える時は何層かに分け、各層を20秒ずつ予備重合すること。
- ・メタルフリー修復物の内面全体をライナーで覆うこと。層の厚さは少なくとも150 μ mを確保すること。
- ・層が変形したり壊れたりする危険があるので、硬化したライナーを取り外さないこと。
- ・本品にワセリン、唾液等が混入すると接着が弱くなるので、混ざらないよう注意すること。
- ・フレームなしでブリッジおよび延長ブリッジを製作しないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

[製造販売元]

Ivoclar Vivadent株式会社
電話 03-6801-1301 Fax 03-5844-3657
www.ivoclarvivadent.jp

[製造元]

Ivoclar Vivadent AG (リヒテンシュタイン侯国)